

認証付電子保証書の交付

(COMMON金融機関Web連携システム)

利用の手引き

Ver1.5

2022年9月28日

兵庫県信用保証協会

變更履歷

[illegible]

1. 概要

1. 1 システムの概要	P4	[第1条1項、第3条1項・3項]
1. 2 配信サーバについて	P4	[第1条1項]
1. 3 セキュリティ	P4	[第1条2項～4項、第4条3項]
1. 4 ダウンロードの方式	P5	[第1条9項・10項、第7条2項]
1. 5 アップロード通知メール	P5	[第3条5項]
1. 6 費用負担	P5	[第7条1項]

2. ファイル・ユーザID・ファイル参照権限について

2. 1 ファイル形式	P6	[第2条1項]
2. 2 ファイル名(ファイルID)	P6	[第1条5項・8項]
2. 3 ファイル種類	P6	[第1条5項～7項、第2条2項]
※電子交付の対象となる保証書について		[第3条2項、第11条4項、第17条]
2. 4 配信サーバ上の保証書ファイルの変更について	P6	[第9条～第16条]
2. 5 ユーザID	P7	[第4条]
2. 6 ファイルアクセス(参照)権限	P7	[第1条11項、第4条]

(参考資料)

・無効通知書PDF	P8
・テスト送信票PDF	P8
・アップロード通知メール文	P9

3. 利用開始までの流れ

Step1	覚書締結	P11	
Step2	利用申請(新規利用開始時のフロー)	P12	[第4条1項、2項]
Ver Step3. 4	クライアント証明書取得用ID・パスワードの送付 クライアント証明書インポート	P17	[第4条3項、第7条3項]
Step5	テスト送信確認	P22	[第6条]
Step6	利用開始		[第8条]
	A. ブラウザによるWeb手動ダウンロード ※ファイルのタイムスタンプ検証	P23	[第1条10項]
	B. 一括ダウンロードツールによる自動転送	P29	[第1条9項・10項]

4. 利用開始後の各種申請

4. 1 追加登録・削除時の申請フロー	P33	[第5条]
4. 2 所管部署情報に変更があった時の申請フロー	P35	[第8条2項、第19条]
4. 3 本サービスの利用を終了する時の申請フロー	P36	[第18条]
4. 4 通知メール種類を変更する時の申請フロー	P37	
4. 5 クライアント証明書を無効化する時の申請フロー	P38	

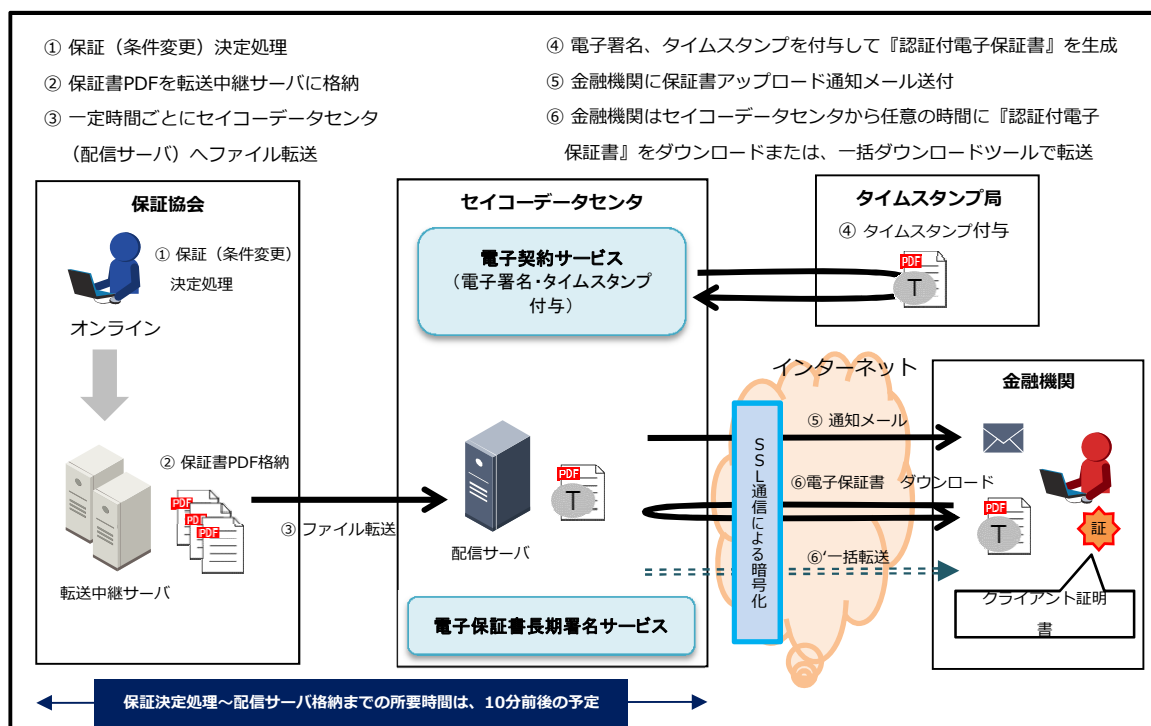
1. 概要

1.1 システムの概要

電子保証書交付サービス(以下「本サービス」)とは、当協会が業務委託している保証協会システムセンター株式会社が契約したセイコーソリューションズ株式会社の「かんたん電子契約サービス(マイページ版)」を利用し、当協会が金融機関に対して書面による保証書交付に代えて認証付電子保証書の交付を行うサービスをいいます。

※サービス提供時間：原則として協会営業日の8:45～19:00

【システム概略図】



Ver1.5

1.2 配信サーバについて

本サービスで使用する配信サーバには、法的効力を確保するため電子署名とタイムスタンプ付与機能を持つセイコーソリューションズ株式会社の「かんたん電子契約サービス(マイページ版)」を利用します。

1.3 セキュリティ

配信サーバへのアクセスに際しては、ID・パスワードに加え、当協会よりお渡しするクライアント証明書による認証を実施し、不正アクセスを排除します。また、配信サーバとの通信はSSL/TLSにより暗号化します。

1. 4 ダウンロードの方式

以下の2つの方式によりダウンロードが可能です。

①Web手動ダウンロード方式

- ・金融機関の本部・営業店ごとに、ブラウザを使用して配信サーバにアクセスし、手動で保証書ファイルをダウンロードする方式
- ・動作確認環境 ※終了時期は、Microsoftサポート期間に準ずる
OS : Windows8.1 / 10 / 11(全て64bit) Webブラウザ : Edge(Chromium)

②一括自動転送方式(希望する場合)

- ・当協会が提供する「一括ダウンロードツール」を金融機関のシステムに組み込み、本部・センターなどで全営業店の保証書ファイルをまとめてダウンロードする方式
- ・動作確認環境 ※終了時期は、Microsoftサポート期間に準ずる
OS : Windows8.1 / 10 / 11(全て64bit)
Windows Server 2012 / 2012R2 / 2016 / 2019
Java環境 : Amazon Corretto 11

1. 5 アップロード通知メール

保証書ファイルを配信サーバにアップロードした時に、保証書ファイルにアクセス(参照)権限を有するユーザのメールアドレス宛に、通知メールを送信します。

通知メールは以下の2種類の方式から選択可能です。

- ①保管方式 : 通知メールに当該保証書ファイルに直接リンク可能なURLの記載なし
配信サーバにログイン後、対象保証書を選択(検索)により参照
- ②配布方式 : 通知メールに当該保証書ファイルに直接リンク可能なURLの記載あり(ログイン不要)
配信サーバへログイン&選択(検索)による参照も可

※送信元メールアドレスは「common-system@cgcsc.co.jp」となります
(このアドレスは配信専用です。このメールに返信されても受信できません)

1. 6 費用負担

本サービスを利用するための機器、インストール作業、通信回線等に関する費用は金融機関の負担となります。

2. ファイル・ユーザID・ファイル参照権限について

2. 1 ファイル形式

PDFバージョン : Ver1.3

フォントの埋め込み : 行います「MS明朝」

(保証書PDFのファイルサイズ=1ファイル概ね200KB)

2. 2 ファイル名(ファイルID)

ファイル名は以下のとおりとなります(アンダーバーで接続)

協会コード	金融機関コード	営業店コード	顧客番号	保証番号	条変番号	拡張子
XX	XXXX	XXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXX	.pdf
(2桁)	(4桁)	(3桁)	(9桁)	(10桁)	(3桁)	
金融機関コードと営業店コードの間はアンダーバーなし					信用保証書の場合は“000”	
「顧客番号」「保証番号」はフル桁に満たない場合、詰める						

No	項目名	桁数	セット内容	備考
1	協会コード	2	当協会の協会コード	
2	金融機関コード	4	統一金融機関番号	
3	営業店コード	3	統一店番号	
4	顧客番号	9	当協会の顧客番号	フル桁(9桁)に満たない場合、詰める
5	保証番号	10	当協会の保証番号	フル桁(10桁)に満たない場合、詰める
6	条変番号	3	当協会の条件変更番号	

2. 3 ファイル種類

No	ファイル種類	目的	署名フォーマット形式
1	保証書PDF	信用(変更)保証書を交付する場合に送信	ES-A(長期署名付)
2	テスト送信票PDF	利用開始前のテスト送信確認時に送信	ES-A(長期署名付) (送信から60日経過で削除)
3	無効通知書PDF	保証書を無効とする場合(※)に送信	ES-T (送信から60日経過で削除)

Ver1.5

(※) 貸付(変更)実行を中止した場合や、保証書の内容訂正に伴い紙の保証書に切替えた場合など

※電子交付の対象となる保証書について

前提条件:保証(条件変更決定)日が覚書の有効期間開始日以降であること

(利用終了時は、利用終了日の翌営業日以降は、保証書の再交付を含め電子交付は不可)

- ・営業店 : 利用申請で電子保証書交付対象とした営業店に対して交付される保証書
- ・保証制度 : 原則として、社債保証を除く全ての保証書
- ・例外扱い : 保証案件個別の事情により、当協会と金融機関の間で事前に合意した保証書や、システム障害などにより、本サービスを中断せざるを得ない場合は、書面により交付します

2. 4 配信サーバ上の保証書ファイルの変動について

保証書交付後に取消や訂正などの手続きが行われた場合、**金融機関と事前に合意のうえで**、配信サーバに格納された保証書ファイルを上書き更新します。

なお、更新の都度、新しいタイムスタンプが付与され、最新のタイムスタンプが付与されたファイルが有効となります。

※保証書PDFをアップロードする際、『電子保証書発行回数』をアップロード通知メール・保証書に表示します
(紙の保証書の場合、発行回数の表示なし)

＜各種イベントと配信サーバ上の保証書ファイルの動きについて＞

No	イベント	配信サーバ上の保証書ファイルの動き
1	保証書交付後に貸付(変更)実行を中止	「無効通知書PDF」で上書き
2	保証書交付後に保証書の内容を	(電子で再交付) 新しい「保証書PDF」で上書き
3	訂正	(紙で再交付) 「無効通知書PDF」で上書き
4	債権移管・債権譲渡(金融機関合併など含む)	新しい金融機関にアクセス権限を更新
5	完済	完済より概ね2年経過後に削除
6	代位弁済	代位弁済支払日にアクセス権限を削除

※無効通知書PDF、テスト送信票PDFは送信後60日経過後に自動削除されます

2.5 ユーザID

ユーザIDは以下のとおりとなります。

協会コード	+	金融機関コード	+	営業店コード	+	通番
XX		XXXX		XXX		XX
(2桁)		(4桁)		(3桁)		(2桁)

本部ユーザの場合は“000”

No	項目名	桁数	セット内容	備考
1	協会コード	2	当協会の協会コード	
2	金融機関コード	4	統一金融機関番号	
3	営業店コード	3	統一店番号	本部ユーザの場合はオールゼロ
4	通番	2	原則は“01”	同一本部・営業店に2ID以上付与の場合は“02”...

※本部ユーザ：全営業店の保証書ファイルの参照が可(本部部署やセンターなどを想定)

※営業店ユーザ：当該営業店分の保証書ファイルのみ参照が可

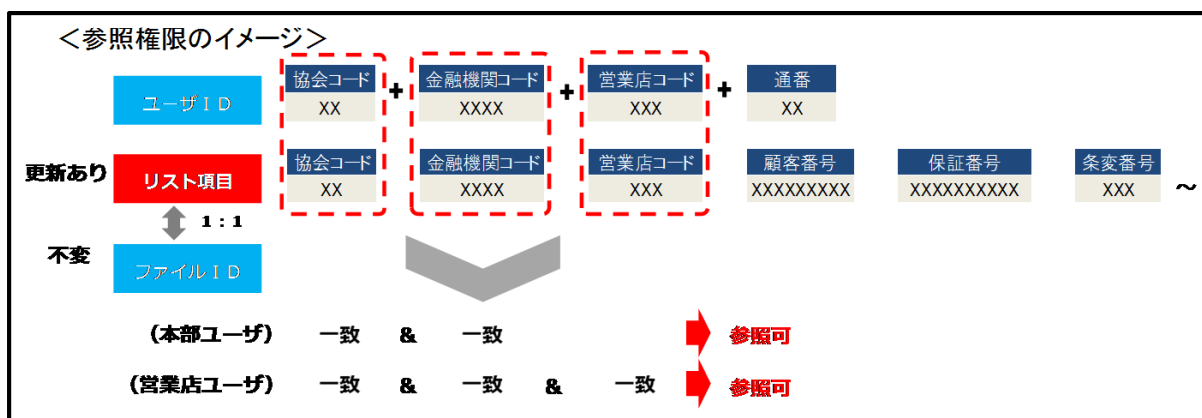
2.6 ファイルアクセス(参照)権限

ファイルIDに紐づくリスト項目(※)の「協会コード」+「金融機関コード」+「営業店コード」にて参照権限を制御します。

(※) ファイルIDと1:1で付与

ファイル検索時のキーワード情報として利用可

債権移管・債権譲渡時はリスト項目の金融機関コード・営業店コードを更新(ファイルIDは不変)



(参考資料)
・無効通知書PDF

[illegible]

・テスト送信票PDF

金融機関名称

御中

送信日 ZZZ9 年 Z9 月 Z9 日

保証書テスト送信票

平素は格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

保証書・変更保証書の電子交付を開始するにあたり、電子データの参照、ダウンロードのご確認をしていただく目的で本票を送付しております。
また、ご申請いただきましたメールアドレス宛にデータのアップロード通知メールを送信しております。お忙しいところ大変恐縮ですが、合わせて受信状況をご確認いただきますようお願い申し上げます。

金融機関名

営業店名
(営業店コード)

金融機関名称

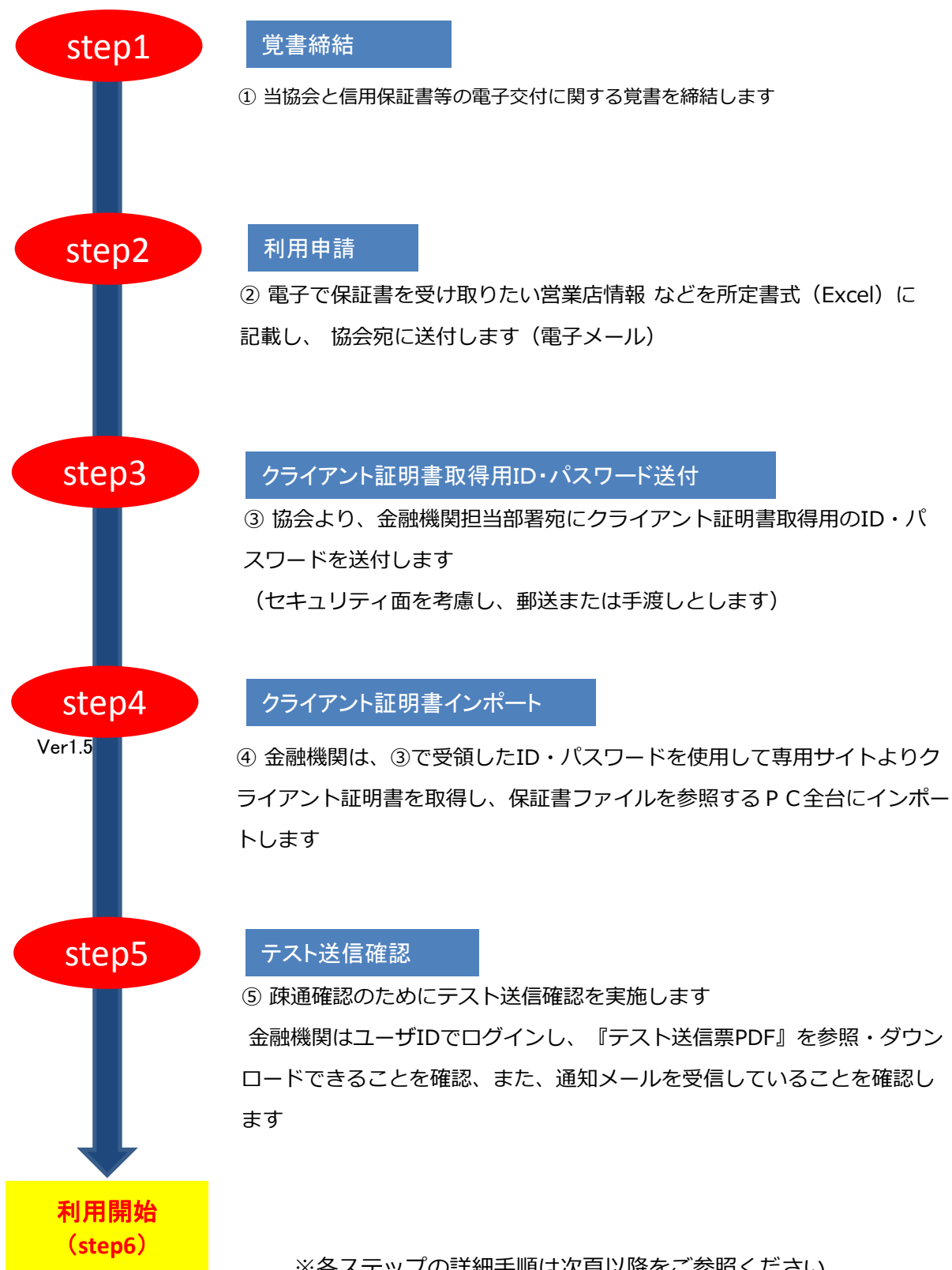
・アップロード通知メール文

保証書（信用）	件名	【〇〇信用保証協会】アップロードのお知らせ（1_ファイルID_発行回数）
	本文	ユーザ名称 御中 いつも大変お世話になっております。 以下の情報を配信サーバにアップロードしました。 取扱店舗：金融機関名 営業店名 （金融機関コード－営業店コード） 1_ファイルID_発行回数 保証日：XXXX年XX月XX日 www.aaaaaaaaaaaaaaaa@aaaaaaaaa 〇〇信用保証協会
保証書（変更）	件名	【〇〇信用保証協会】アップロードのお知らせ（2_ファイルID_発行回数）
	本文	ユーザ名称 御中 いつも大変お世話になっております。 以下の情報を配信サーバにアップロードしました。 取扱店舗：金融機関名 営業店名 （金融機関コード－営業店コード） 2_ファイルID_発行回数 条件変更決定日：XXXX年XX月XX日 www.aaaaaaaaaaaaaaaa@aaaaaaaaa 〇〇信用保証協会
無効通知書	件名	【〇〇信用保証協会】アップロードのお知らせ（3_ファイルID）
	本文	ユーザ名称 御中 いつも大変お世話になっております。 以下の情報を配信サーバにアップロードしました。 取扱店舗：金融機関名 営業店名 （金融機関コード－営業店コード） 3_ファイルID www.aaaaaaaaaaaaaaaa@aaaaaaaaa 〇〇信用保証協会
テスト送信票	件名	【〇〇信用保証協会】アップロードのお知らせ（4_ファイルID）
	本文	ユーザ名称 御中 いつも大変お世話になっております。 以下の情報を配信サーバにアップロードしました。 取扱店舗：金融機関名 営業店名 （金融機関コード－営業店コード） 4_ファイルID www.aaaaaaaaaaaaaaaa@aaaaaaaaa ※このメールは十分注意のうえ発信しておりますが、万が一、誤発信された場合は深くお詫び申し上げます。本メールにお心当たりの無い場合は、本メールを削除いただきますよう重ねてお願い申し上げます。 〇〇信用保証協会

※赤字箇所は可変となります

※青字箇所（ファイルにリンク可能なURL情報）は配布方式の場合に記載されます

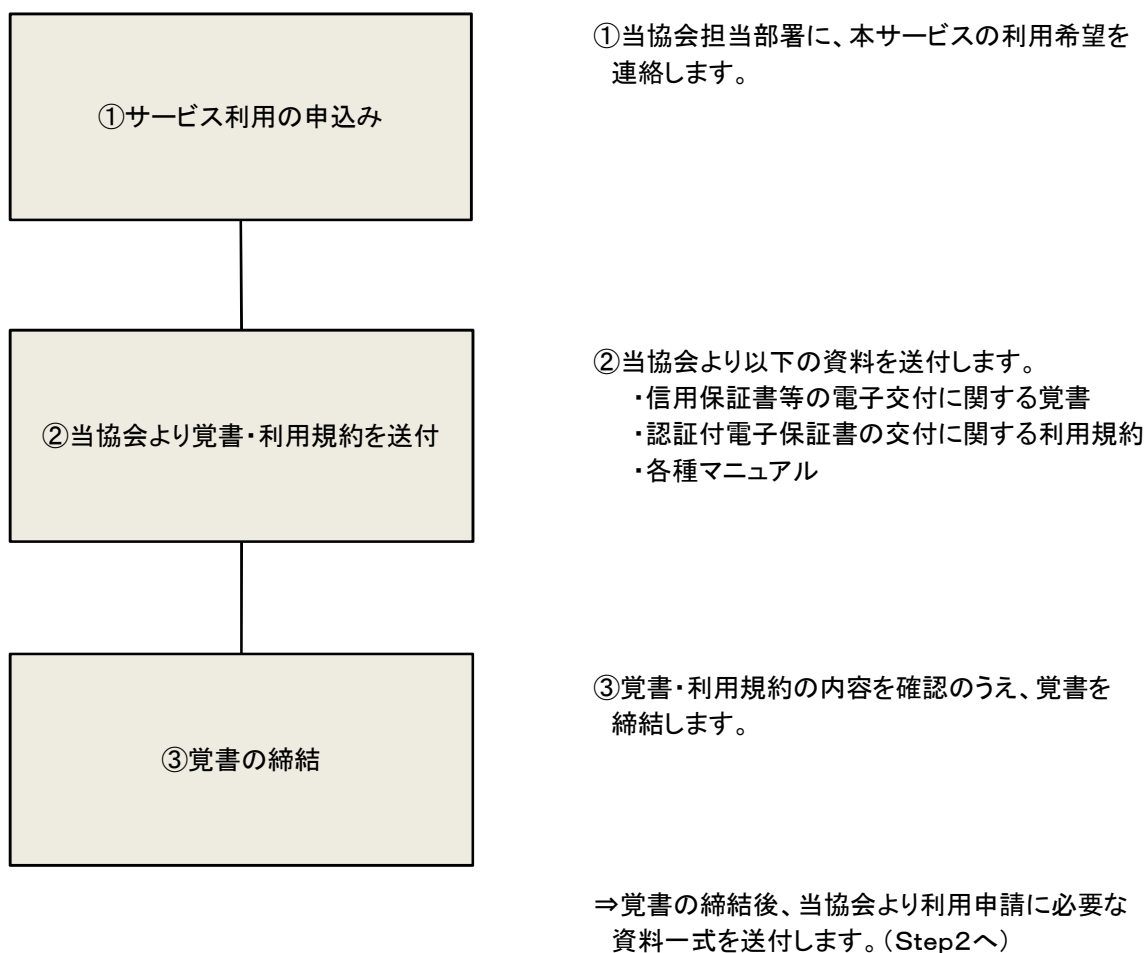
3. 利用開始までの流れ



Step1 覚書締結

当協会と「信用保証書等の電子交付に関する覚書」を締結します。

【覚書締結までのフロー】



Ver1.5

Step2 利用開始申請

『利用開始申請書』および『電子対象申請シート』に必要事項を記入し、協会宛に送付します。

■利用開始申請書

本サービスの窓口となる部署に関する情報、アップロード通知メール種類、一括ダウンロードツールの導入希望について記入します。

<利用開始申請書イメージ>

電子保証書交付サービス		① 申請日	2019/4/17
利用開始申請書		参考	
② 金融機関名	〇×銀行		金融機関コード (金融機関番号) 2345
1. 所管部署について（本サービスの窓口となる部署）			
③ 部署名	システム管理部		
④ ご担当者名	電子 太郎		
⑤ ご住所	〒XXX-XXX 東京都〇〇区〇〇1-23-4		
⑥ お電話番号	XX-XXXX-XXXX		
⑦ メールアドレス	XXXX@marubatubank.co.jp		
2. 希望するアップロード通知メール種類について			
⑧ 通知メール種類	保管方式		
※通知メール種類について ・保管方式:通知メールに対象保証書ファイルに直接リンク可能なURLの記載なし ・配布方式:通知メールに対象保証書ファイルに直接リンク可能なURLの記載あり(ログイン不要)			
3. 一括ダウンロードツールの導入希望について			
⑨ 導入希望有無	希望する		
4. 備考			
⑩			

<記入・選択項目一覧>

No	記入・選択項目	記入・選択方法
①	申請日	当協会へ申請される年月日を記入します
②	金融機関名	金融機関名、金融機関コード(金融機関番号)を記入します
③	部署名	本サービスの運用・管理をご担当される部署名を記入します
④	ご担当者名	担当者様のお名前(フルネーム)を記入します

⑤	ご住所	住所を記入します ※クライアント証明書取得用ID・パスワードの送付先になります
⑥	お電話番号	電話番号を記入します
⑦	メールアドレス	メールアドレスを記入します
⑧	通知メール種類	以下の何れかを選択します i 保管方式：通知メールに保証書ファイルに直接リンク可能なURLの記載なし(ログイン後に対象保証書を選択(検索)により参照) ii 配布方式：通知メールに保証書ファイルに直接リンク可能なURLの記載あり(ログイン&選択(検索)による参照も可)
⑨	(一括ダウンロードツール)導入希望有無	以下の何れかを選択します i 希望する ii 希望しない
⑩	備考	協会との調整事項がある場合に記入します

※No③、⑤～⑦の項目に変更があった場合は、後述の「所管部署情報等変更申請書」の提出が必要となります(No④「ご担当者名」のみ変更の場合は提出不要)

■ 電子対象申請シート

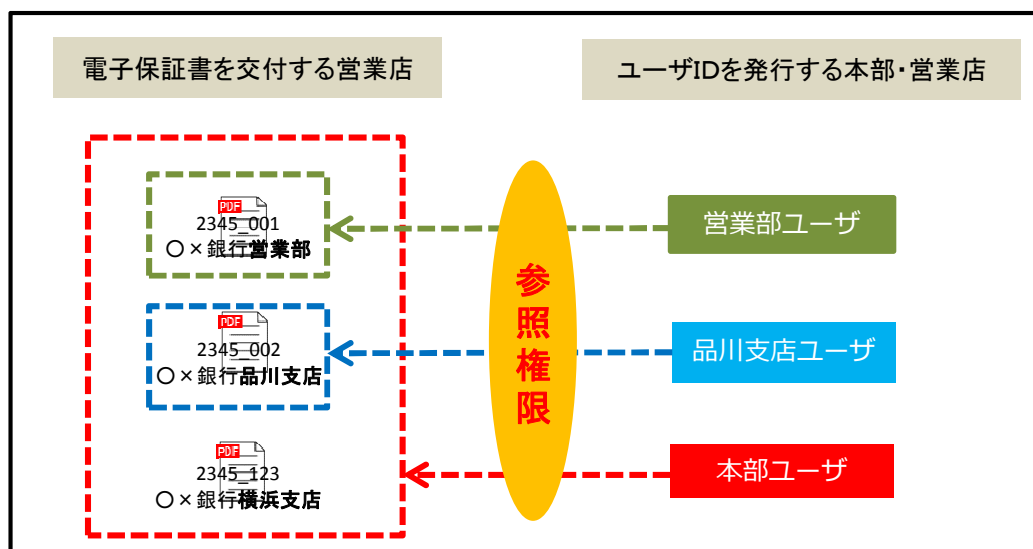
電子保証書を交付する営業店(*1)、ユーザIDを発行する本部・営業店(*2)の情報を記入します。

(*1) 電子で保証書を受取りたい営業店(本シートに記載のない営業店への電子保証書交付は不可)

(*2) 配信サーバにログインが可能な本部(本部部署やセンターなど)・営業店

- ・本部ユーザは全営業店保証書ファイルの参照が可(営業店ユーザは当該営業店分のみ参照が可)
- ・本部ユーザの登録は必須

電子保証書を交付する営業店、ユーザIDを発行する本部・営業店のイメージ



ユーザID発行申請時の留意点

- ・IDは本部・営業店に対し、原則、1IDずつの発行となります。
- ・一括ダウンロードツールを導入する場合は、ツール用の本部ユーザIDの申請が必要となります。
- ・エリア店舗制、母店・サテライト制などの方式を導入されている場合は、原則、営業店IDを引渡してご利用いただきます。
- ・営業店ユーザIDの発行を希望する場合や本部・営業店に対し追加ID(2ID以上)の発行を希望する場合は、当協会担当者にご相談ください。

<電子対象申請シートイメージ>

電子対象申請シート									
参考									
協会用									
入力内容 チェック									
CSV									
①	申請先協会	東京	②	金融機関コード	2345				
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
No.	電子対象区分	ID区分	ユーザID	営業店コード	通番	初期パスワード	初期ユーザ名称	初期メールアドレス	アップロード通知メール要否(初期)
1	登録	登録	14234500001	000	01	abc12345	〇×銀行本部	000@marubatubank.co.jp	必要
2	登録	登録	14234500101	001	01	abc23456	〇×銀行営業部	001@marubatubank.co.jp	必要
3	登録	登録	14234500201	002	01	abc34567	〇×銀行品川支店	002@marubatubank.co.jp	必要
4	登録	登録	14234500202	002	02	abc45678	〇×銀行品川支店(統括)	999@marubatubank.co.jp	必要
5	登録	—		123					

(参考)

- ・ : 記入・選択が必須の項目(本部・電子保証書交付対象営業店を全て記入)
- ・ : 自動表示される項目
- ・ : 本部・ID発行営業店を登録 or 本部・ID発行済営業店のIDを削除 する場合、記入が必須の項目
- ・ : 本部・ID発行営業店を登録 する場合、記入・選択が必須の項目

<記入・選択項目一覧>

No	記入・選択項目	記入・選択方法
①	申請先協会	事前に選択されています【入力不可】
②	金融機関コード	金融機関番号(半角数字4桁)を記入します
③	電子対象区分 【選択】	電子保証書交付対象に関する区分を以下より選択します i 登録：交付対象に登録する場合 ii 削除：交付対象から削除する場合 iii —(ハイフン)：i・ii 以外の場合(交付対象に変動がない場合) ※本部ユーザもシステム登録上「i 登録」を設定
④	ID区分 【選択】	ID発行に関する区分を以下より選択します。 i 登録：IDを発行する場合 ii 削除：IDを削除する場合 iii —(ハイフン)：i・ii 以外の場合(ID発行有無に変動がない場合)
⑤	ユーザID 【自動表示】	協会コード+金融機関コード+営業店コード+通番が自動表示されます 【入力不可】 ※配信サーバにログインする際に必要となります
⑥	営業店コード	店番号(半角数字3桁)を記入します
⑦	通番	通番(半角数字2桁)を記入します(本部、営業店に対し1ID付与の場合は“01”を、2ID以上付与の場合は“02” “03”…と記入)

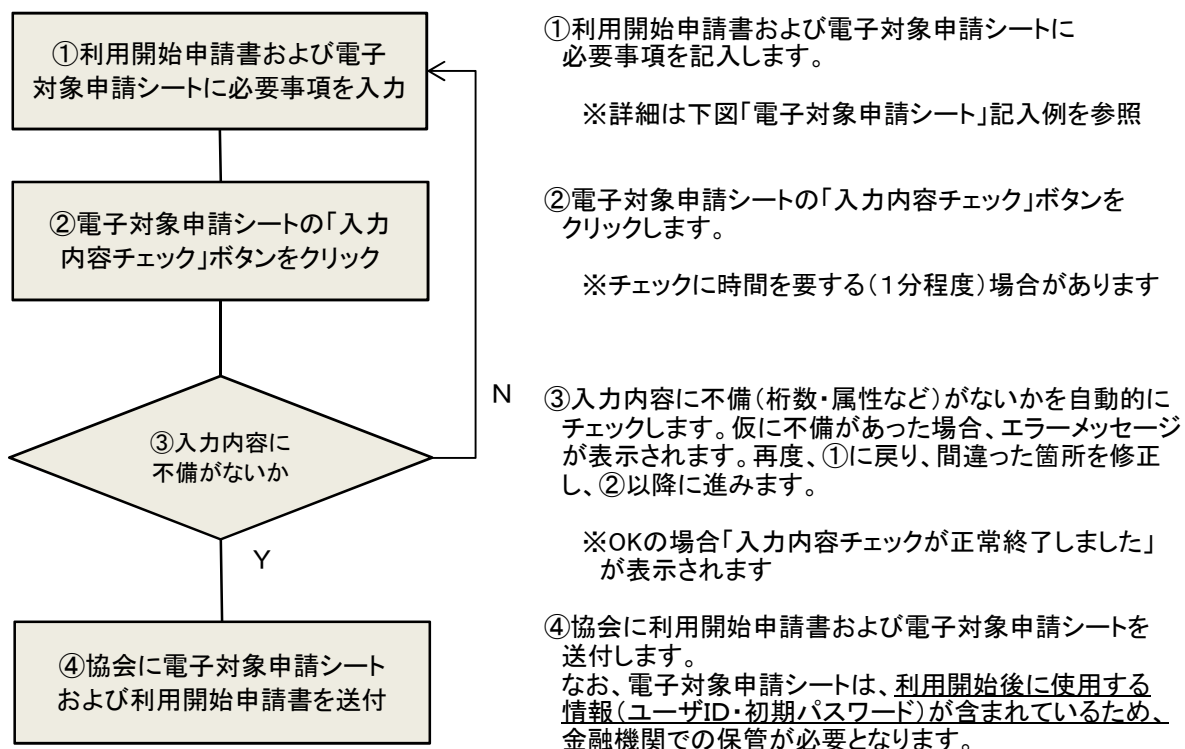
⑧	初期パスワード	半角英数字8～16桁(英数字混合)で記入します ※パスワード失念時にパスワード初期化をした場合に必要となります
⑨	初期ユーザ名称	金融機関名等を全角日本語31桁以内で記入します ※アップロード通知メールの宛名、配信サーバログイン時のログインユーザ名となります
⑩	初期メールアドレス	半角英数字50桁以内で記入します ※本メールアドレスがアップロード通知メールの宛先となります ※複数ユーザで同一のメールアドレスを重複利用することが可能です
⑪	アップロード通知メール 要否(初期)【選択】	一律、i 必要を選択します

※⑧／⑨／⑩／⑪は、利用開始後にユーザ側で設定変更可能

但し、⑪について、本部ユーザは利用開始後も“i 必要”から変更しないください

※初期パスワードは不変

【新規利用開始時の申請フロー】



★『電子対象申請シート』(新規利用開始時)記入例★

電子対象申請シート

協会用 CSV

入力内容チェック

手順1

① 申請先協会 東京

② 金融機関コード 2345

手順2

No.	③ 電子対象区分	④ ID区分	⑤ ユーザID	⑥ 営業店コード	⑦ 通番	⑧ 初期パスワード	⑨ 初期ユーザ名称	⑩ 初期メールアドレス	⑪ アップロード通知メール要否(初期)
1	登録	登録	14234500001	000	01	abc12345	○×銀行本部	000@marubatubank.co.jp	必要
2	登録	登録	14234500101	001	01	abc23456	○×銀行営業部	001@marubatubank.co.jp	必要
3	登録	登録	14234500201	002	01	abc34567	○×銀行品川支店	002@marubatubank.co.jp	必要
4	登録	登録	14234500202	002	02	abc45678	○×銀行品川支店(統括)	999@marubatubank.co.jp	必要
5	登録	—		123					

手順3

手順4

手順1: 「②金融機関コード」を記入

手順2: 本部および電子保証書を交付する営業店について、「⑥営業店コード(本部ユーザはオールゼロ)」を記入し、「③電子区分」を「登録」に設定

手順3: 手順2で記入した本部と、記入した営業店のうちID発行を希望する営業店について、「⑦通番」「⑧パスワード」「⑨ユーザ名称」「⑩メールアドレス」「⑪通知メール要否」を記入・選択し、「④ID区分」を「登録」に設定

手順4: 手順2で記入した営業店のうちID発行を希望しない営業店について、「④ID区分」を「—(ハイフン)」に設定 (⑦、⑧、⑨、⑩、⑪の記入・選択は不要)

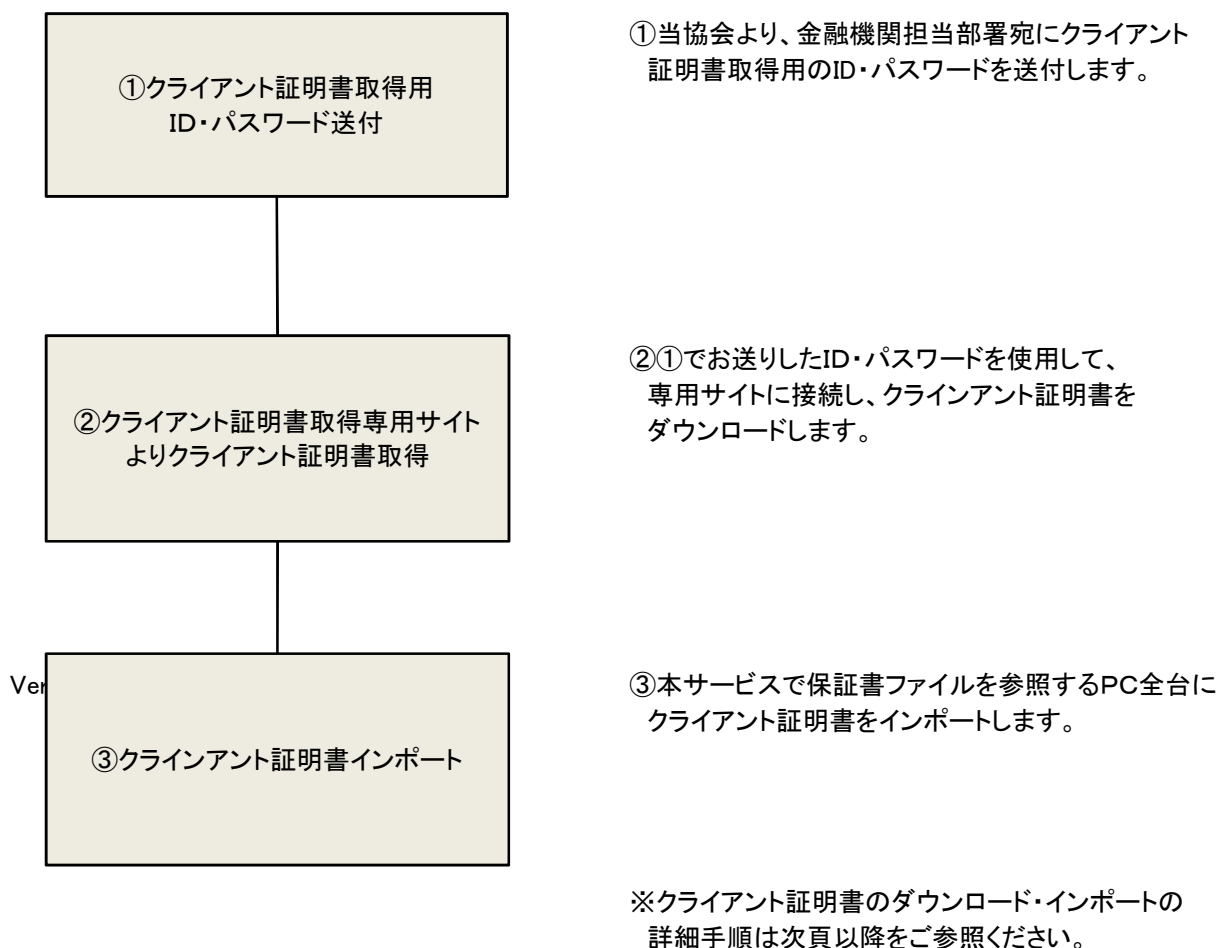
Step3. 4 クライアント証明書取得用ID・パスワードの送付、クライアント証明書インポート

クライアント証明書取得用サイトよりクライアント証明書を取得し、本サービスで保証書ファイルを参照するPC全台にインポートします。

※クライアント証明書について

- ・本サービスはクライアント証明書がインポート済みのPCのみ接続可能
- ・本サービスにアクセスする際の Windowsユーザごとにクライアント証明書のインポートが必要です
- ・「協会」+「金融機関」ごとに1つの証明書を発行
- ・更新期限は5年
(有効期限終了時は再度クライアント証明書のインポートが必要です。なお、有効期限終了時のクライアント証明書の配布方法は改めてご案内します)

【クライアント証明書インポートまでのフロー】



【クライアント証明書インポート手順】

※本サービスで保証書ファイルを参照するPC全台について、Windowsユーザごとに作業を実施する必要があります

- (1) クライアント証明書取得専用サイト(※)にアクセスし、ログイン画面で
クライアント証明書取得用のユーザID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

(※) 専用サイトURL

<https://aw93721c.seiko-cybertime.jp/client/login/>

本ログイン画面は配信サーバログイン画面とは異なります

保証書配信システム クライアント証明書 提供サービス

ログイン

ユーザID testgin x
パスワード
ログイン

- (2) ダウンロード画面に遷移します。
有効期限内であることを確認して、ダウンロードボタンをクリックします。

※本画面に表示されているPKCS#12パスワードは、証明書インポート時に必要となるため、控えておく必要があります。

クライアント証明書ダウンロード

所有者名	010001
有効期限	2024/11/28
PKCS#12パスワード	fvVlw/l4

ダウンロード

控えを残す

- (3) ダウンロードした「clientcertcert.p12ファイル」をダブルクリックします。

- (4) 証明書インポートウィザードが開きます。
「現在のユーザー」のチェックをオンにし、「次へ」をクリックします。

← 証明書のインポートウィザード

証明書のインポートウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピーします。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

保存場所

☒ 現在のユーザー (C)

☐ ローカル コンピューター (L)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

次へ (N) キャンセル

- (5) インポートする証明書ファイル確認画面が開きます。
今回インポートするファイル名であることを確認し、「次へ」をクリックします。

← 証明書のインポートウィザード

インポートする証明書ファイル

インポートするファイルを指定してください。

ファイル名 (F):
E:\backup\証明書.pfx

参照 (R)...

注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:

- Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX, .P12)
- Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)
- Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)

次へ (N) キャンセル

- (6) パスワード入力画面に遷移します。
(2) で控えておいたパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

証明書のインポートウィザード

秘密キーの保護

セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード(P):

パスワードの表示(B)

インポート オプション(O):

☐ 秘密キーの保護を強力にする(E)
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。

☐ このキーをエクスポート可能にする(M)
キーのバックアップやトランスポートを可能にします。

☐ 仮想化ベースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する(エクスポート不可)(P)

☒ すべての拡張プロパティを含める(A)

次へ(N) キャンセル

- (7) 証明書ストア確認画面に遷移します。
「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」のチェックをオンにし、「次へ」をクリックします。

証明書のインポートウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるが、証明書の場所を指定することができます。

☒ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(L)

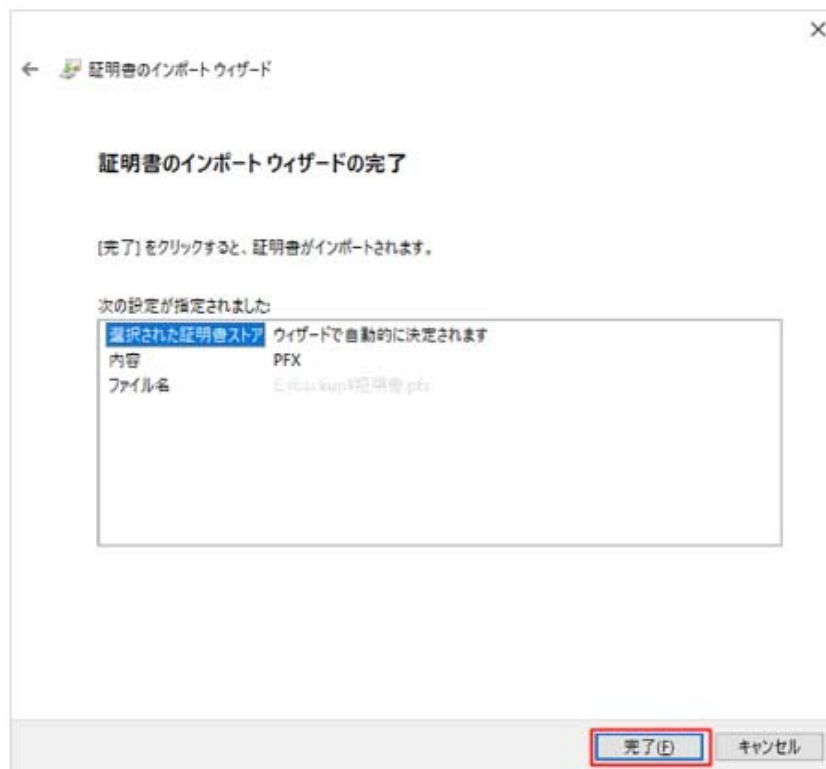
☐ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

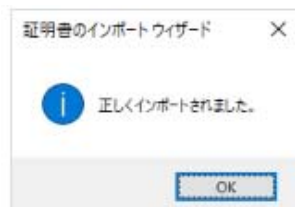
参照(R)...

次へ(N) キャンセル

(8) 証明書のインポートウィザードの完了画面に遷移しますので、「完了」をクリックします。



(9) 正しくインポートされたことを通知するダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。

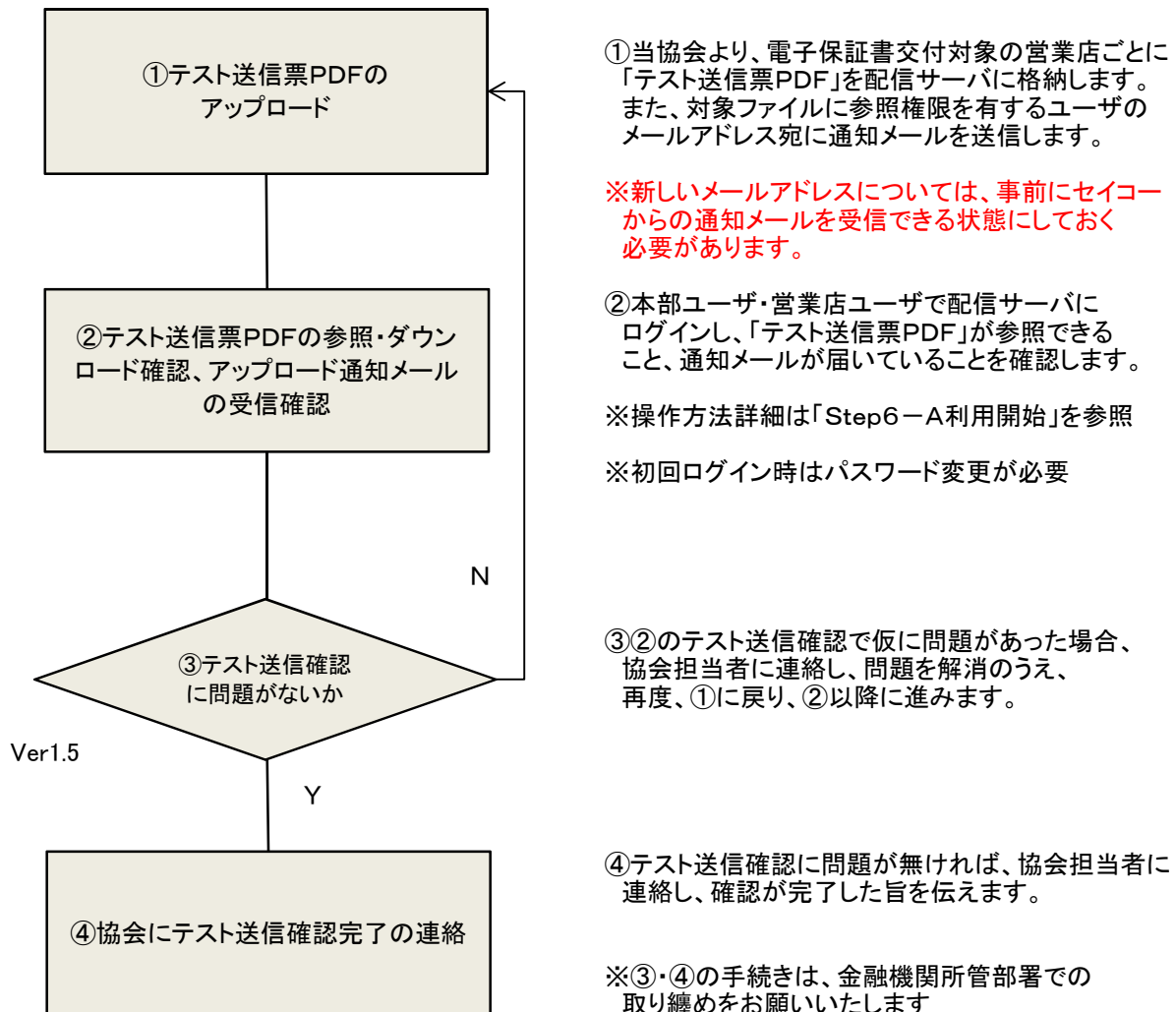


以上でクライアント証明書のインポートが完了です。

Step5 テスト送信確認

疎通確認（配信サーバに格納されたファイルの参照・ダウンロード、アップロード通知メール受信）のために、テスト送信確認を実施します。
Step4までの準備が整いましたら当協会にご連絡ください。

【テスト送信確認のフロー】



Step6 利用開始

A. ブラウザによるWeb手動ダウンロード

(1) 概要

ブラウザを使用して配信サーバにログインし、保証書ファイルをダウンロードします。

(2) 動作環境 ※終了時期は、Microsoftサポート期間に準ずる

OS : Windows8.1 / 10 / 11(全て64bit) Webブラウザ : Edge(Chromium)

(3) 基本的な閲覧・ダウンロードの手順

① 配信サーバへのログイン

配信サーバ(※)にアクセスします。
クライアント証明書の確認画面が表示されますので、「OK」をクリックすると、
ログイン画面に遷移します。
ログイン画面で、ユーザID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

(※)配信サーバURL

<https://aw93721c.seiko-cybertime.jp/>

COMMON金融機関Web連携システム

ログイン

ユーザID

パスワード

ログイン

Ver1.5

パスワード初期化

- ② 初期パスワードでログインした場合は、パスワード作成画面に遷移しますので、パスワードを入力し「決定」をクリックします。
※パスワードは半角英数字8～16桁(英数字混合)で入力
※パスワード有効期限は120日

パスワード作成

パスワード作成

パスワード

パスワード(確認)

パスワードは半角英数字混在8文字以上16文字以下

決定

- ③ ログインに成功するとメニュー画面が表示されます。
メニュー画面から「保証書検索」をクリックします。

〇〇信用保証協会

保証書検索

ユーザメンテ

- ④ 保証書検索画面で、必要に応じて検索項目を入力し「検索」をクリックします。
※入力した検索項目を消去したい場合は、「クリア」をクリックします。

〇〇信用保証協会

前回ログイン日時：2020-XX-X XX:XX

ログアウト

保証書検索

ユーザメンテ

保証書検索

アップロード日

～

保証(変更)日

～

顧客番号

保証番号

条変番号

顧客名

ファイル種類

ALL

金融機関コード

0001

営業店コード

100

ファイル名

協会コード

14

検索

クリア

< 検索項目 >

No	項目	検索方法	説明
1	アップロード日	範囲指定	保証書ファイルのアップロード日
2	保証(変更)日	範囲指定	保証日もしくは条件変更決定日
3	顧客番号	完全一致	筆頭債務者顧客番号(保証書発行時点)
4	保証番号	完全一致	保証番号
5	条変番号	完全一致	条件変更番号
6	顧客名	部分一致	筆頭債務者名漢字(保証書発行時点)
7	ファイル種類	プルダウン	"1"保証 "2"条件変更 "3"無効 "4"テスト送信
8	金融機関コード	完全一致	統一金融機関番号(4桁) ※債権移管・譲渡時に更新
9	営業店コード	完全一致	統一店番号(3桁) ※債権移管・譲渡時に更新
10	ファイル名 (ファイルID)	前方一致	協会コード_金融機関コード_営業店コード_顧客番号_保証番号_条変番号 ※金融機関コード+営業店コード は保証書発行時点(債権移管・譲渡が生じてても不変)

⑤ 閲覧・ダウンロード

☐一括チェック

1ページ 10 件を表示する 【検索結果 1 件】

チェック	ファイル名 (ファイルID)	アップロード日	保証(変更)日	顧客番号	保証番号	条変番号	顧客名	ファイル種類	金割
☐	14_0001001_100150654_2000084223_002	2019-11-16 17:12:02	2019-11-17	100150654	2000084223	002	アップ確認	無効	000

前

1

次

ファイルダウンロード

・閲覧

「ファイル名(ファイルID)のリンク」をクリックすると保証書ファイルが表示されます。

・ダウンロード

ダウンロードしたい保証書ファイルの「チェック」をオンにし、「ファイルダウンロード」をクリックします。

なお、複数ファイルを一括ダウンロードする場合は、個別に保証書ファイルの「チェック」をオンにするか、「一括チェック」をオンにしたうえで、「ファイルダウンロード」をクリックします。

※1ページで表示可能な件数上限は100件

(100件を超える場合は、「ページ選択」で改ページ)

※検索可能な件数上限は2,000件

(2,000件を超える場合は、2,000件までを表示し、以下のメッセージを表示

「検索結果が2,000件を超えています。検索を絞り込んでください」)

※表示順序は、アップロード日(降順)＞保証日(降順)＞ファイル名(昇順)

(タイトル項目横の“↑”“↓”をクリックすることで、同項目の昇順・降順に表示順序の変更が可)

⑥ ログアウト

画面上部の「ログアウト」をクリックし、ログイン画面に遷移します。

ブラウザの「閉じる(×)」をクリックします。

前回ログイン日時 : 2020-XX-X XX:XX
ログインユーザ : ○○銀行 ○○支店

ログアウト

(4) パスワードを忘れたときについて

- ① ログイン画面で「パスワード初期化」をクリックします。

The screenshot shows the login page titled 'COMMON金融機関Web連携システム'. Below the title is the 'ログイン' (Login) section. It contains two input fields: 'ユーザID' (User ID) and 'パスワード' (Password), followed by a 'ログイン' (Login) button. A red box highlights the 'パスワード初期化' (Reset Password) link located below the login button.

- ② パスワードの初期化を行うユーザIDを入力し、「パスワード初期化」をクリックします。

The screenshot shows the password reset page titled 'COMMON金融機関Web連携システム'. Below the title is the 'パスワード初期化' (Reset Password) section. It contains a 'ユーザID' (User ID) input field and a 'パスワード初期化' (Reset Password) button. Both the input field and the button are highlighted with red boxes. Below the section is a link 'ログイン画面に戻る' (Return to login screen).

- ③ ログイン画面で、ユーザIDと初期パスワード(※)を入力の上、「ログイン」をクリックします。
(※) 利用申請時に設定した初期パスワード

- ④ パスワード作成画面に遷移しますので、パスワードを入力し「決定」をクリックします。
※パスワードは半角英数字8～16桁(英数字混合)で入力
※パスワード有効期限は120日

The screenshot shows the password creation page titled 'パスワード作成' (Create Password). It contains two input fields: 'パスワード' (Password) and 'パスワード (確認)' (Confirm Password), both filled with dots. A red box highlights these two input fields. Below the fields is a note: 'パスワードは半角英数字混在8文字以上16文字以下' (Password must be 8 to 16 characters, including lowercase letters, uppercase letters, and numbers). A '決定' (Decide) button is located at the bottom right, also highlighted with a red box.

(5) ユーザ情報のメンテナンス(変更)について

パスワード、ユーザ名、メールアドレス、アップロード通知メール設定は、画面上で変更可能です。

〇〇信用保証協会

前回ログイン日時 : 2020-XX-X XX:XX
ログインユーザ : 〇〇銀行 〇〇支店

ログアウト

保証書検索

ユーザメンテ

ユーザメンテ

ユーザ情報

パスワード変更

ユーザ名変更

メールアドレス変更

アップロード通知メール設定

ユーザID

14000100101

ユーザ名

テスト本店1支店1

メールアドレス

アップロード通知メール設定

不要

※本部ユーザについては、アップロード通知メール設定は変更しないでください(必要を選択)
※詳細は「画面操作マニュアル」を参照

【ファイルのタイムスタンプ検証(電子保証書発行回数確認)】

金融機関内部手続き上、タイムスタンプ情報が必要な場合は、署名のプロパティで確認が可能です。

信用保証書

金融機関名 神中

center041303071913
150000020051
1 / 1

電子保証書発行回数 [002]

・『電子』の場合、汎用ソフト(Adobe Acrobat Reader)の「署名パネル」→「署名のプロパティ」で確認
・『紙』の場合、保証書と同画面キャプチャを印刷して確認

署名のプロパティ

署名は有効で、BO-Test-SEIKO Solutions Inc.によって署名されています。
署名時刻: 2019/09/09 14:47:56 +09'00'
信頼ソース取得元: Windows 信頼済み証明書ストア

正当性の概要

文書は、この署名が適用された後、変更されていません。
証明者は、この文書についてフォームフィールドの入力、署名、および注釈の作成を許可することを指定しています。その他の変更は許可されていません。
署名者のIDは有効です。
埋め込みタイムスタンプが署名に含まれています。タイムスタンプ時刻: 2019/09/09 14:47:57 +09'00'
署名は保証された(タイムスタンプ)時刻に検証されました: 2019/09/09 14:47:57 +09'00'

署名者情報

署名者の証明書から発行者の証明書へのパスは正しく構築されました。
署名者の証明書は有効であり、失効していません。
署名者の証明書を表示(S)...

詳細プロパティ(A)... 署名を検証(V) 閉じる(C)

協会名

※署名の詳細確認

Adobe Acrobat Reader DC

「署名パネル」のクリックで表示される署名のプロパティ、証明書ビュー等の画面で詳細が確認できます。

協会名

第三者による認証(署名の有無、有効・無効等の表示)

文書非改ざんの証明

タイムスタンプ日付

発行タイムスタンプ局

タイムスタンプの有効期限(発行後 10年)

署名は有効で、SEIKO Cyber Time, Time Stamp Serviceによって署名されています。
署名時刻: 2015/04/13 09:24:13 +09'00'

正当性の概要

文書は、この署名が適用された後、変更されていません。
証明者は、この文書についてフォームフィールドの入力、署名、および注釈の作成を許可することを指定しています。その他の変更は許可されていません。
署名者のIDは有効です。
埋め込みタイムスタンプが署名に含まれています。タイムスタンプ時刻: 2015/04/13 09:24:13 +09'00'
署名は保証された(タイムスタンプ)時刻に検証されました:

証明書ビュー

このダイアログボックスを使用して、証明書およびその発行チェーン全体の詳細を表示できます。表示される詳細は、選択したエントリに対応しています。
見つかったすべての証明パスを表示(S)

GlobalSign SEIKO Timestamp Service, Accredited A2W01

SEIKO Timestamp Service, Accredited
SEIKO Solutions Inc.
発行者: GlobalSign CA for AATL - SHA256 - G2
GlobalSign nv-sa
有効期限の開始: 2015/04/06 09:00:00 +09'00'
有効期限の終了: 2026/05/06 09:00:00 +09'00'
鍵の使用法: 電子署名、タイムスタンプ

・インターネット環境において、汎用ソフト(Adobe Acrobat Reader)で改ざんの検知、署名の詳細確認が可能です(ダウンロードしたファイルも確認可能)です。

Step6 利用開始

B. 一括ダウンロードツールによる自動転送

(1) 概要

一括ダウンロードツール(以下「本ツール」)は配信サーバから保証書ファイル(リスト項目csvファイル含む)をダウンロードするツールです。

Windowsタスクスケジューラで自動起動(手動起動も可)し、保証書ファイルをダウンロード、所定のフォルダに格納します。

※ツールを導入する場合は、ツール用の本部ユーザIDの申請が必要となります

※協会+金融機関ごとに1つのツール利用となります(営業店ユーザでの利用は不可)

(2) 動作環境 ※終了時期は、Microsoftサポート期間に準ずる

OS : Windows8.1 / 10 / 11(全て64bit)

Windows Server 2012 / 2012R2 / 2016 / 2019

Java環境 : Amazon Corretto 11

(3) 実行方法

実行方法は以下の方法が選択可能です。

- ① Windowsタスクスケジューラによる自動実行
- ② コマンドプロンプト・エクスプローラーからの手動実行

(4) ダウンロード対象

前回、本ツールでのダウンロード実行後に、新たにアップロードされた保証書ファイル

※本ツールに設定したユーザが参照権限を持つ保証書ファイルに限ります

※ブラウザによるWeb手動ダウンロードを実施していてもダウンロード対象となります

Ver1.5 (留意点)

・債権移管・譲渡により参照権限が変更になった保証書ファイルは、従前の金融機関が本ツールを使用していた場合、ダウンロードの対象になりません。

同ファイルのダウンロードを行う場合は、別途、ブラウザにて手動ダウンロード(※)してください。

(※)債権移管・譲渡が生じて不変である「ファイル名」にて絞り込み検索が可能

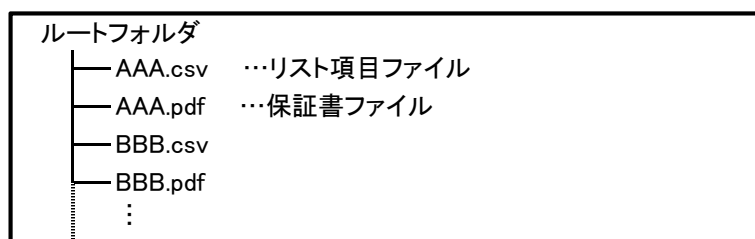
(詳細手順は「画面操作マニュアル」を参照)

(5) ダウンロードした保証書ファイルの格納

本ツール設定時に作成したフォルダ(ルートフォルダ(※))配下に格納されます。

(※)フォルダ名称は任意に設定可

<イメージ>

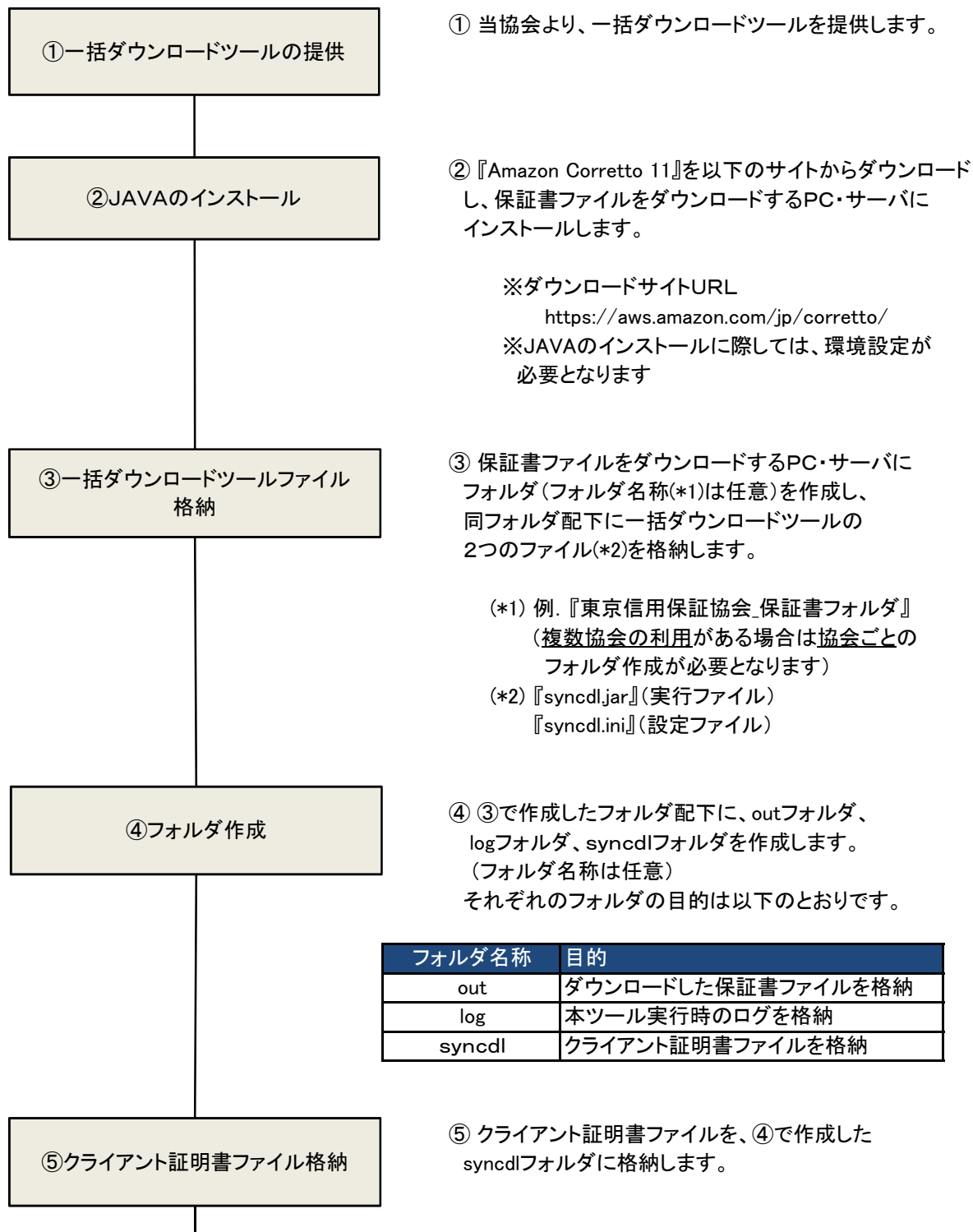


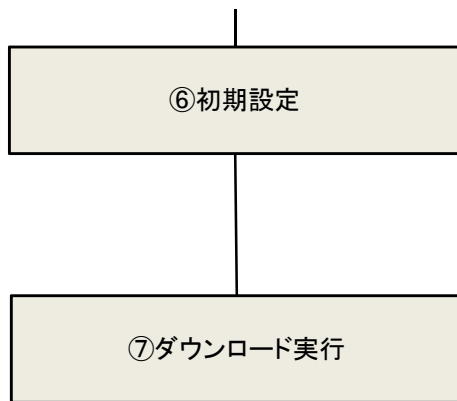
(6) 配信サーバアクセス時のセキュリティ

配信サーバへのアクセス時にはユーザID・パスワードに加え、クライアント証明書による利用者確認を行います。

金融機関によっては、プロキシサーバなどでURL名の設定が必要となる可能性があります。

(7) 一括ダウンロードツールの提供から運用開始までの流れ





⑥ 設定ファイルの内容を使用する環境に合わせて修正します。

『syncdl.ini』(設定ファイル)をメモ帳などのテキストエディタで開き、内容の修正(設定)を行います(設定内容の詳細は(*3)参照)。

⑦ ダウンロード実行

・手動実行

コマンドプロンプトを起動し、一括ダウンロードツールの2つのファイルを配置したフォルダに移動します。コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。

```
java -jar syncdl.jar
```

コマンドプロンプト実行例は(*6)参照

・Windowsタスクスケジューラによる自動実行

Windowsタスクスケジューラを使用する場合、任意のフォルダ内の『syncdl.jar』(実行ファイル)を指定します。

(*3)『syncdl.ini』(設定ファイル)の設定内容

No	項目	キー文字列	初期値	備考
1	サービスURL	url	https://aw93721c.sei kocybertime.jp/syncdl	
2	ユーザID	user_id	AAAA	本ツール用本部ユーザIDの値
3	ユーザパスワード(*4)	user_pass	BBBB	本ツール用本部ユーザパスワードの値
4	出力フォルダ	out_folder	C:/synctool/out	絶対パス指定
5	ログフォルダ	log_folder	C:/synctool/log	絶対パス指定
6	クライアント証明書ファイル	p12_file	C:/synctool/syncdl/クライアント証明書.p12	絶対パス指定
7	クライアント証明書パスワード	p12_pass	CCCC	クライアント証明書ダウンロード時に記載 (Step3.4 (2)参照)
8	プロキシ指定(*5)	proxy	(無効)DDDD	プロキシ使用時のみ入力
9	接続タイムアウト(秒)	connectiontimeout_sec	10	
10	受信タイムアウト(秒)	readtimeout_sec	10	
11	リトライ数	retry	3	
12	リトライ間隔	retrywaittime_sec	3	

(*4) ユーザパスワードは初期パスワードのまま使用しないでください。

Webでログインして初期パスワードを変更した値で使用してください(Step6 A (3) ②参照)。

初期パスワードのまま使用すると実行エラーとなります。

(*5) プロキシを使用している場合、#proxy = の最初の # を削除して値を設定してください。
プロキシを使用していない場合、本項目は初期値の設定のままで使用可能です。

例) プロキシ 10.208.0.8:8080 を使用する場合

初期値 : # プロキシ指定

#proxy = DDDD

修正後 : # プロキシ指定

proxy = 10.208.0.8:8080

(*6)実行例

通常の例

```
java -jar syncdl.jar
ダウンロード開始 [件数]2
ダウンロード [1]16_0001001_0000000001_0000000001_001
ダウンロード [2]16_0001001_0000000002_0000000001_001
ダウンロード完了
```

処理対象なしの場合

```
java -jar syncdl.jar
ダウンロード対象データがありません。
```

エラー出力の例

```
ユーザIDまたはパスワードが違います。
ユーザが営業店です。
org.apache.http.conn.HttpHostConnectException: Connect to xxx failed: Connection timed out:
connect
javax.net.ssl.SSLHandshakeException: Received fatal alert: handshake_failure
```

(8)ログ

一括ダウンロードツールでは以下のログを出力します。

⇒ログの出力先は「(*3)No5」を参照

No	種類	内容
1	[INFO]	ダウンロード対象データがありません
2	[INFO]	ダウンロード[連番][ファイルID]
3	[INFO]	ダウンロード完了
4	[WARN]	通信リトライ時の途中エラー(=最終結果出ないエラー)の出力
5	[ERROR]	設定ファイル無し
6	[ERROR]	設定ファイル必須項目未設定
7	[ERROR]	設定ファイル指定ファイル/フォルダの不存在
8	[ERROR]	設定ファイル数値項目の不正
9	[ERROR]	クライアント証明書PKCS#12異常
10	[ERROR]	クライアント証明書パスワード不正
11	[ERROR]	サーバ接続エラー(TCPまたはSSLレベル)
12	[ERROR]	サーバ応答ステータスエラー(認証エラーやユーザ不適合含む)
13	[ERROR]	サーバ応答受信エラー(タイムアウトまたは不正データ受信)
14	[ERROR]	ファイル読み込み・書き込みエラー
15	[ERROR]	その他、予期しないエラー

4. 利用開始後の各種申請

4.1 追加登録・削除時の申請フロー

営業店の追加(新店舗開設)・削除(統廃合)やユーザIDが不要となったこと等に伴い、電子保証書を交付する営業店、ユーザIDについて追加登録・削除が必要な場合は、『電子対象申請シート』および『追加登録・削除申請書』を作成し協会宛に送付します。

なお、追加登録時は、別途、クライアント証明書のインポート(ID追加の場合のみ)、テスト送信確認が必要となります。

★『電子対象申請シート』(追加登録・削除時)記入例★

電子対象申請シートには、今回追加・削除対象の本部・営業店情報のみを記入します

＜追加登録時(新店舗開設や既設営業店にID追加発行など)のパターン別記入例＞

パターン①:ID発行営業店を追加登録する場合

電子対象区分	ID区分	ユーザID	営業店コード	通番	初期パスワード	初期ユーザ名称	初期メールアドレス	アップロード通知メール要否(初期)
登録	登録	14234500201	002	01	abc23456	○×銀行 新宿支店	002@marubatubank.co.jp	必要

パターン②:ID無し営業店を追加登録する場合

電子対象区分	ID区分	ユーザID	営業店コード	通番	初期パスワード	初期ユーザ名称	初期メールアドレス	アップロード通知メール要否(初期)
登録	—		234					

パターン③:登録済の交付対象営業店(ID無し)をID発行営業店に変更する場合
(本部・登録済のID発行済営業店に追加IDを発行する場合も同様)

電子対象区分	ID区分	ユーザID	営業店コード	通番	初期パスワード	初期ユーザ名称	初期メールアドレス	アップロード通知メール要否(初期)
—	登録	14234512301	123	01	abc45678	○×銀行 横浜支店	123@marubatubank.co.jp	必要

※電子保証書交付対象であることに変動はないため「電子区分」は「—”(ハイフン)」を設定

＜削除時(店舗統廃合や不要となった既設営業店のID削除など)のパターン別記入例＞

パターン④:登録済のID発行営業店を交付対象外営業店に変更する場合

電子対象区分	ID区分	ユーザID	営業店コード	通番	初期パスワード	初期ユーザ名称	初期メールアドレス	アップロード通知メール要否(初期)
削除	削除	14234512301	123	01				

Ver1.5

パターン⑤: 登録済の交付対象営業店(ID無し)を交付対象外営業店に変更する場合

電子対象区分	ID区分	ユーザID	営業店コード	通番	初期パスワード	初期ユーザ名称	初期メールアドレス	アップロード通知メール要否(初期)
削除	—		234					

※ID発行有無に変動はないためID区分は「—」(ハイフン)」を設定

パターン⑥: 登録済のID発行営業店を交付対象営業店(ID無し)に変更する場合
(複数ID登録済みの本部・ID発行営業店の一部IDを削除する場合も同様)

電子対象区分	ID区分	ユーザID	営業店コード	通番	初期パスワード	初期ユーザ名称	初期メールアドレス	アップロード通知メール要否(初期)
—	削除	14234500201	002	01				

※電子保証書交付対象であることに変動はないため「電子区分」は「—」(ハイフン)」を設定

※追加登録・削除の申請に際し、本サービス対象本部・営業店情報を履歴管理するための補助用エクセルツール(※)の提供を希望される場合は、協会担当者にご相談ください。

(※)今回申請対象の本部・営業店情報と登録済み本部・営業店情報との整合性確認等が可能なツール

<追加登録・削除申請書イメージ>

電子保証書交付サービス		① 申請日	2019/4/17
追加登録・削除申請書		参考	
② 金融機関名	〇×銀行	金融機関コード (金融機関番号)	2345
1. 申請の区分について			
③ 申請区分	追加登録 or 削除		
④ 申請理由	一括ダウンロードツール利用開始		
⑤ 申請理由で「その他」を選択した場合は、具体的な理由をご記入ください	新店舗開設 or 店舗統廃合 or 一括ダウンロードツール利用開始 or 同利用終了 or その他		
2. 申請担当者			
⑥ 部署名	システム管理部		
⑦ ご担当者名	電子 太郎		
⑧ ご住所	〒XXX-XXX 東京都〇〇区〇〇1-23-4		
⑨ お電話番号	XX-XXXX-XXXX		
⑩ メールアドレス	XXXX@marubatubank.co.jp		
3. 備考			
⑪			

4.2 所管部署情報に変更があった時の申請フロー

『利用開始申請書』に記載した所管部署情報(担当者名を除く)に変更があった場合、
『所管部署情報変更申請書』を作成し協会宛に送付します。

※『電子対象申請シート』の作成は不要

<所管部署情報変更申請書イメージ>

電子保証書交付サービス		① 申請日	2019/4/17
所管部署情報変更申請書		参考	
② 金融機関名	〇×銀行	金融機関コード (金融機関番号)	2345
1. 所管部署について (本サービスの窓口となる部署)			変更有無
③ 部署名	システム管理部	有り	
④ ご担当者名	電子 太郎		
⑤ ご住所	〒XXX-XXX 東京都〇〇区〇〇1-23-4	無し	
⑥ お電話番号	XX-XXXX-XXXX	無し	
⑦ メールアドレス	XXXX@marubatubank.co.jp	有り	
2. 備考			
⑧			

4.3 本サービスの利用を終了する時の申請フロー

金融機関単位で本サービスの利用を終了する場合、『利用終了申請書』を作成し協会宛に送付します。

※『電子対象申請シート』の作成は不要

※利用終了日の翌営業日以降は、保証書の再交付を含め電子交付は不可

<利用終了申請書イメージ>

電子保証書交付サービス		① 申請日	2019/4/17
利用終了申請書		参考	
② 金融機関名	〇×銀行	金融機関コード (金融機関番号)	2345
1. 利用終了について			
③ 利用終了(予定)日	2019/4/17		
④ 利用終了理由について具体的な理由をご記入ください			
※利用終了日の翌営業日以降は、保証書の再交付を含め電子交付は不可となります			
2. 申請担当者			
⑤ 部署名	システム管理部		
⑥ ご担当者名	電子 太郎		
⑦ ご住所	〒XXX-XXX 東京都〇〇区〇〇1-23-4		
⑧ お電話番号	XX-XXXX-XXXX		
⑨ メールアドレス	XXXX@marubatubank.co.jp		
3. 備考			
⑩			

4. 4 通知メール種類を変更する時の申請フロー

『利用開始申請書』に記載した通知メール種類(保管方式・配布方式)を変更する場合は、
『通知メール種類変更申請書』を作成し協会宛に送付します。

<通知メール種類変更申請書イメージ>

電子保証書交付サービス		① 申請日	2019/4/17
通知メール種類変更申請書		参考	
② 金融機関名	○×銀行	金融機関コード (金融機関番号)	2345
1. 通知メール種類変更内容について			
③ 変更内容	保管方式に変更する		
① 配布方式に変更する ② 保管方式に変更する			
2. 申請担当者			
④ 部署名	システム管理部		
⑤ ご担当者名	電子 太郎		
⑥ ご住所	〒XXX-XXX 東京都〇〇区〇〇1-23-4		
⑦ お電話番号	XX-XXXX-XXXX		
⑧ メールアドレス	XXXX@marubatubank.co.jp		
3. 備考			
⑨			

4. 5 クライアント証明書を無効化する時の申請フロー

クライアント証明書について漏洩・不正使用の恐れがあることが判明した場合は、クライアント証明書の有効期限内であっても、当該クライアント証明書を無効化することが可能です。

この場合、『クライアント証明書無効化申請書』を作成し協会宛に送付します。

<クライアント証明書無効化申請書イメージ>

電子保証書交付サービス		① 申請日	2019/4/17
クライアント証明書無効化申請書		参考	
② 金融機関名	〇×銀行	金融機関コード (金融機関番号)	2345
1. クライアント証明書無効化について			
③ 無効化理由について 具体的な理由を ご記入ください			
2. 申請担当者			
④ 部署名	システム管理部		
⑤ ご担当者名	電子 太郎		
⑥ ご住所	〒XXX-XXX 東京都〇〇区〇〇1-23-4		
⑦ お電話番号	XX-XXXX-XXXX		
⑧ メールアドレス	XXXX@marubatubank.co.jp		
3. 備考			
⑨			